

東北地方太平洋沖地震による津波堆積物 - 岩手県久慈市久慈川・夏井川河口域、普代浜における観察結果 Tsunami deposits by the 2011 Tohoku Earthquake -observation from the estuary of kuji, natsui river and fudai beach-

瀬尾 菜々美^{1*}
SEO, Nanami^{1*}

¹ 神戸大学発達科学部人間環境学科

¹Division of Human Environmental Science | Faculty of Human Development, Kobe University

2011年東北地方太平洋沖地震による津波被害のあった岩手県久慈市および普代浜での津波堆積物の調査を行った。

岩手県久慈市では、河口域において調査・観察・サンプルの採取を行った。

観察した津波堆積物は層厚約30cmで、下部の24 - 30cmは砂を基質とした大小さまざまな礫からなる淘汰の悪い層であった。上部の13-24cmの砂層は上方細粒化を示し、最上部の0 - 13cmの砂層は極細粒砂に富む塊状の砂層で、薄い雲母片が肉眼で観察された。

サンプルについて粒度分析を行ったところ、上部の0 - 13cmの砂層が125 μmに強いピークを示し、125 μmおよび90 μmが全体の75%程度を占めることがわかった。底生有孔虫の同定では、20 - 33m以浅の内部浅海帯指標種が卓越した。掘削中に地表面から約25cm地点で合弁のヤマトシジミが産出し、放射性炭素年代測定の結果 - 111 ± 19年前と判定された。

河口に形成される砂州は津波前後の画像比較から侵食を受け、陸側に形成されるラグーンが縮小していた。

普代浜でも、同様に河口砂州が侵食され、消失していた。普代浜では観察結果のみであるが、

海岸線から約300m地点では約26cmの厚い砂層が観察された。下部の土壌との間には明瞭な侵食面があり、津波による侵食があったことが確認された。

キーワード: 津波堆積物, 東北地方太平洋沖地震, 津波, 久慈川, 夏井川, 普代浜

Keywords: Tsunami deposit, The 2011 Tohoku Earthquake, Tsunami, Kuji river, Natsui river, Fudai beach